

平成 26 年度 磐城共立高等看護学院 学校運営評価

当校では、平成 16 年度より学校活動全般に関わる教育の質の向上を目指し学校運営評価に取り組んでいます。「教職員による学校運営評価」と「学院生活に対する卒業時アンケート」の平成 26 年度における結果は以下のとおりです。各項目は、「5；できている～1；できていない」の5段階で評価しました。

1 教職員による学校運営評価

評価のカテゴリーは9領域（全項目48項目）です。

カテゴリー別平均を過去2年間と比較すると、今年度はⅣ学生生活への支援、Ⅴ管理運営・財政、Ⅵ施設設備、Ⅷ広報の4カテゴリーで平均点が上昇しています。

学生生活への支援、入学・卒業対策では、学生一人ひとりの状況を把握し、個々の学生に合わせた支援を行っていることが高い評価につながっていると考えられます。国家試験の合格率は過去5年間100%を維持しており、学内での講義はもとより、総合磐城共立病院、福島整肢療護園、舞子浜病院を始め、保健所や訪問看護ステーション、介護老人福祉施設などにおいて、体制が整った中で臨地実習を行っていることも、学生の力を育み、成長するうえでの貴重な体験となっています。

広報では、昨年度よりホームページを活用して学校の状況をお知らせしていますが、今後も文化祭やフェイスブックの活用などを通して、情報発信に努めていきたいと思います。

管理運営・財政では、今年度災害対策マニュアルが完成し、学生および教職員の備蓄品や拡声器、非常用ライト、懐中電灯、携帯ラジオなどの防災用品の整備をマニュアルに沿って整えることができたことが要因と考えられます。

評価の低い項目のうち、施設設備については、スロープや体育館の障害者用トイレはありますが、校内に設置していないことが評価の低い原因と考えられます。築30年を経過しており、メンテナンスをしながら学生生活に支障がないようにしていきたいと思います。また、教職員の育成については、自己研鑽に加えて授業評価の活用を進めるなどの対策を行っていく予定です。

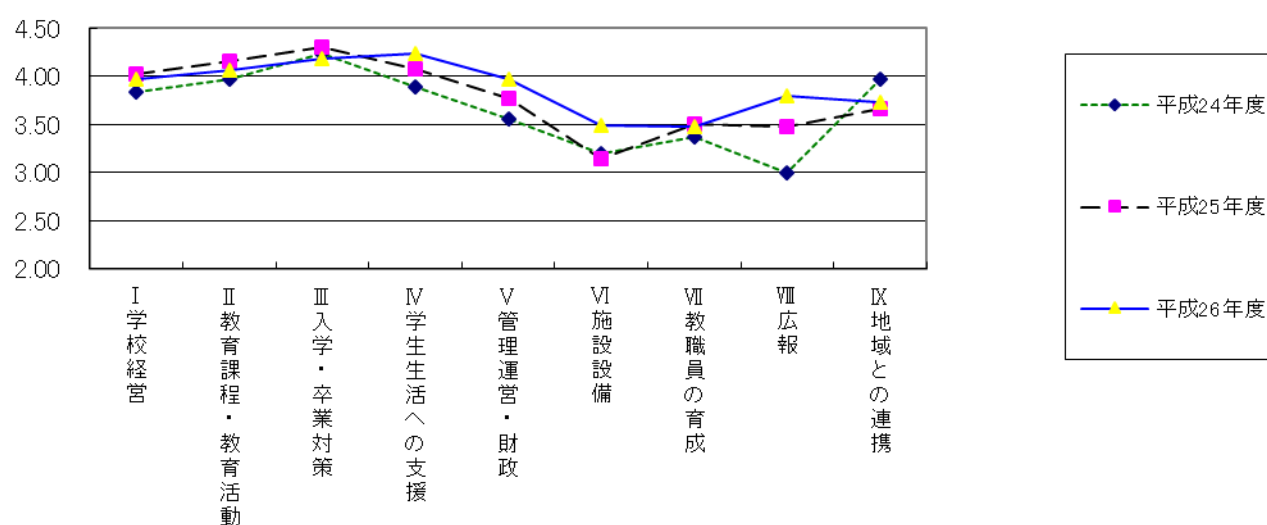


図 1 学校運営評価(平成 24 年度～26 年度)

2 学院生活に対する卒業時アンケート

評価のカテゴリーは6領域(全項目20項目)です。

20項目の平均は4.2で、昨年よりはやや低下(平成24年度4.2、平成25年度4.5)しましたが、おおむね高い評価を受けています。平均以上の項目は、主に授業の工夫・改善、実習時の倫理的配慮、国家試験対策、進路相談、学生の心身や生活への支援、危機管理体制に関することでした。

平均の低い項目は、VI施設設備に関する項目であり、学校運営評価における課題と一致しており、必要な設備改善については予算化を検討する必要があると考えています。

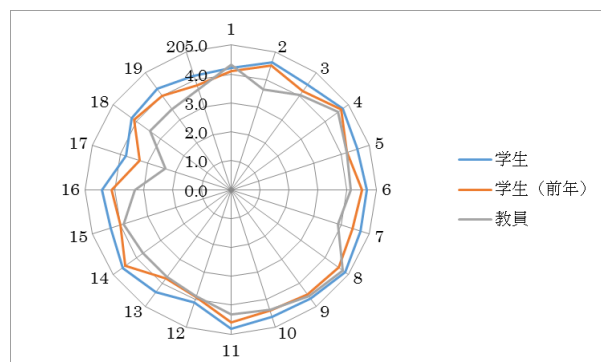


図2 学院生活に関するアンケート
—教職員の学校運営評価との対比—

＊「学院生活に関するアンケート」の項目と内容：上記の番号の項目と内容については下記をご参照下さい。

I 教育課程・教育活動に関する項目

- 1 学生便覧に記載されているシラバス(授業内容)は、学生が授業内容を理解しやすく、授業内容と一致している。
- 2 授業内容や指導方法が学生レベルにあうよう工夫・改善している。
- 3 実習目標に沿った病棟の選択及び、学習環境・指導体制が整っている。
- 4 実習における患者への倫理的配慮に関するガイドラインを作成し、患者等の同意を得た上で、実施している。
- 5 実習において、学生が関係したインシデント(ヒヤリ・ハット体験、事故報告)等を把握・分析しているとともに、改善策を講じている。
- 6 授業改善に努める目的で、学生による授業評価(講義・臨地実習)を実施している。
- 7 学生指導において、学生に対して人権への配慮がされている。

II 入学・卒業対策に関する項目

- 8 国試対策に個々の学生にあった指導・援助を実施するなど教職員一丸となって取り組んでいる。
- 9 学生の進路決定率を高めるよう努めている。

III 学生生活への支援に関する項目

- 10 学生の心身面での健康管理体制が整っている。
- 11 学生生活、進学、就職に関して学生の相談に十分応じている。
- 12 学生がボランティアなどの社会活動へ積極的に参加できるよう努めている。
- 13 教育・学習活動に関する情報提供を保護者等に行い、支援を得ることにつながっている。

IV 管理運営・財政に関する項目

- 14 災害など非常時の危機管理体制が整っている。
- 15 学校運営などに学生の意見が反映されている。

V 施設設備に関する項目

- 16 校舎を定期的に点検し、適正な整備を行っている。
- 17 校舎はバリアフリーに配慮された構造になっている。
- 18 教育目標達成に必要な施設、設備及び新しい教材が整っており、活用されている。
- 19 学生のために、休息、親睦及び交流等を行うためのスペースが設けられている。

VI 広報に関する項目

- 20 看護師養成所としての存在を、十分にアピールする広報活動を適切に行っている。